



# 学校だより 穂 立

平成29年4月14日  
新発田市立豊浦中学校  
第1号



入学式後の記念写真

## 29年度、スタート！！

平成29年度がスタートしました。

今年度も素晴らしい生徒たちと職員で力を合わせて豊浦中学校の伝統を引き継いでいきたいと思っておりますので、保護者や地域の皆さまからのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆☆ 入学式式辞より（抜粋） ☆☆

今日からは、皆さんも豊浦中学校の一員として、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

そのために心がけてほしい4つのことについてお話しします。

一つ目は、勉強を頑張るということです。この場にいる2年生・3年生の授業を受ける態度は大変素晴らしいです。新入生の皆さんも集中して授業を受け、家庭学習も毎日確実に行ってください。勉強して学力をきちんとつけることで、これから先の人生の可能性が広がります。

二つ目は、友だちや先生方との会話を大切にすることです。小学校時代と違い、大勢の仲間や先生方との生活となります。これまで以上に、自分の考えを正しく伝え、友だちの考えを正しく受け止めなければなりません。お互いに気持ちをうまく伝え合うことができないことで、友だちとの仲がうまくいかなくなることもあります。楽しい学校生活を送るためにも、自分の考えをはっきり伝え、友だちや先生の話は目と耳で聞くように心がけてください。

三つ目は、部活動や委員会、係の活動などに責任をもって取り組むことです。みなさん一人一人が大切な豊浦中学校の一員です。自分の役

割をきちんと果たすことで、誰にでも自慢できる今以上に素晴らしい豊浦中学校をつくることができます。

最後の四つ目は、挨拶を大切にすることです。友だちや先生、お家の方はもちろん、地域の方にも自分からすすんで挨拶をしてください。みなさん一人一人が豊浦の宝です。その宝は大勢の方から支えられ、磨かれることでより輝きを増します。一人一人今まで以上に輝きを増すためにも、誰に対しても大きな声でしっかりと挨拶をしてください。

この四つのことを心がけ、行動に移すことで、集団の一員として、そして、一人の人間として成長してください。

長いようで短い3年間の中学校生活です。楽しいことだけでなく、辛いこともあります。困ったときは一人で悩まず、相談してください。先生方や2年生・3年生はみなさんを応援し、支えてくれます。充実した楽しい日々になるよう、一緒に力を合わせていきましょう。

### 歓迎の言葉 生徒代表 青木さん

※紙面の都合で一部省略してあります。

この豊浦中学校は、新入生の皆さんを迎えて生徒数133名となりました。小規模校ですが、いろいろな活動を活発に行っている学校です。先生方は私たちの意見をよく聴いてくださり、柔軟に対応して下さっています。そのおかげで、私たちは、安心して、楽しく中学校生活を送っています。

豊浦中学校の一番大きな長所は、学年の壁を乗り越え、交流を深められることです。上級生下級生という垣根がなく、1年生から3年生までが豊浦中学校の仲間です。皆

さんも、新しい学校生活の中で不安に思ったり困ったりしたことは、私たちに何でも相談してください。上級生はだれもが、皆さんの相談に親身になってのってくれるはずです。そして、1年生から3年生まで心を通わせ、それぞれの長所を生かしながら、団結していろいろな活動や行事に取り組んでいきましょう。

ここで、中学校の行事を少し紹介します。



1年の中で一番盛り上がる行事は体育祭です。赤団、青団の2チームに分かれて競技、応援で競い合います。応援団幹部を中心に、体育祭を盛り上げるパネルをつくるパネル係、よりよい応援にするための応援グッズをつくる小道具係などの担当を決め、夏休み中にも活動が行われます。夏休み後の1週間で全員にダンスと応援歌を覚えてもらい、集中した活動が行われます。当日、競技に応援に精一杯の力を出し切りそれぞれの団が一つになります。全員で一緒に頑張った分だけ、感動も悔しさも、全員で共有できるのです。

次に、クラスの団結を高める合唱コンクールがあります。1学期末から、曲を決め取り組みます。よりよい合唱を作り上げようと、クラスの工夫が問われます。

さて、中学生として目標を持って挑戦していくことが成長の土台です。年4回ある定期テストは、毎日の授業に真剣に取り組む、家庭学習をしっかりこなし、目標に向かって努力することが大切です。努力すれば、努力した分、点数となって返ってきます。目標をしっかりともつことで努力を続けることができます。

最後に部活動です。大会やコンクールに向け、自分の技術を向上させようと豊中生は努力をしています。部としての目標、個人の目標を達成しようと、部員みんなで協力し合いながら取り組んでいます。

今日から始まる中学校の3年間は、長いようであつという間に過ぎ去っていきます。なんとなく学校生活を送った人と、常に目標をもちながら挑戦した人とは、成長に大きな差が出ます。後から振り返って、充実した3年間だったと自信をもって言える時間を過ごせるようにしましょう。

皆さんがこの豊浦中学校の仲間として、それぞれの力を発揮してくれることを期待して歓迎の言葉といたします。

## 誓いの言葉 新入生代表 野俣さん

※紙面の都合で一部省略してあります。

新しい環境、新しい友だち、これから進んでいく新たな学校生活を楽しみにしていました。私たち新入生は、これから始まる中学校生活に胸をふくらませています。



しかし、新しく始まる中学校生活は、楽しみなことだけではなく、不安や心配なこともあります。先生方や先輩から、豊浦中学校についてたくさん教えていただき、1日も早く中学校生活に慣れていきたいと思えます。

小学校と中学校では、様々な面で違っていると聞いています。学習面では、教科ごとに先生が替わったり、英語が教科として新たに加わったりします。生活面では1日を制服や体操着で過ごしたり、昼休みの体育館を使える日が決まっていたりします。

また、部活動も始まります。部活動では、しっかりと自分の目標をもち、その目標を達成できるよう、一生懸命取り組んでいこうと思えます。

校長先生をはじめ、豊浦中学校の先生方、先輩方からたくさんのことを学び、仲間と協力し、前向きに一生懸命取り組んでいきます。そして、充実した3年間にするため、日々努力することをここに誓います。

## 転出入職員です

- 《転出者 大変お世話になりました》
- |     |       |                   |
|-----|-------|-------------------|
| 教頭  | 山田せい子 | 天王小学校へ<br>(校長として) |
| 教諭  | 堀口 博子 | 県立五泉特別支援学校へ       |
| 教諭  | 小柳 順子 | 新潟市立山潟中学校へ        |
| 講師  | 平野ルリ子 | 退職                |
| 調理手 | 相馬 信子 | 退職                |
| 調理手 | 雨尾 弘子 | 七葉共同調理場へ          |
- 《転入者 よろしくお願いたします》
- |     |       |              |
|-----|-------|--------------|
| 教頭  | 安達 昭則 | 県立村上中等教育学校から |
| 教諭  | 加藤 裕子 | 村上市立神納中学校から  |
| 調理手 | 春日 宏予 | 北共同調理場から     |
| 調理手 | 渡辺みどり | 菅谷小学校から      |